


# 「国語」・「数学」・「英語」の力と学習の様子

～『R5 全国学力・学習状況調査』から～


今年度は、国語、数学、英語の調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習の様子がうかがえました。  は良いところ  は伸ばしたいところ


## 【国語】


### ① 学習指導要領の内容・領域における結果

 …「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」のすべての内容・領域で全国の平均正答率を上回っています。


### ② 特に正答率の高かった問題

 …「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて質問する内容を検討する力を問う問題では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。活動の目的を見定め、話題を設定する力がついていると考えられます。

 …「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる問題の正答率が高かったです。事象や行為、心情を表す語句の量が確保できています。

 …「歴史的仮名遣い」を「現代仮名遣い」に直して読む問題で、県と並び、全国平均を超える高い正答率でした。

### ③ 課題

 …「読むこと」の領域において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうか問う問題に課題がありました。表現がその文章の内容を伝えたり、印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えることが重要です。

### 【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県 ●越前市


■全国 69.8

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。


## 【数学】


### ① 学習指導要領の領域における結果 「数と計算」「図形」「変化と関係」


「データの活用」の4領域からの出題でした（「測定」領域の出題はありませんでした）

 …「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で、全国の平均正答率を上回っています。「図形」「データの活用」の領域において、県の平均正答率を上回っています。


### ② 特に正答率の高かった問題

 …「数と式」の領域において、数と整式の乗法計算をする問題では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。正しい計算過程とそこで用いる原理・法則の理解ができています。

 …「数と式」の領域において、問題場面における考察の対象を明確に伝える問題がよくできています。与えられた問題場面を正しく捉え、具体的な整数を入れて正しく計算をする技能が身についています。

 …「データの活用」領域では、四分位範囲を求める問題がよくできています。四分位範囲の意味を理解しており、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉えることができます。

### ③ 課題

 …「図形」の領域において、空間における平面の性質を考察する問題に課題があります。身の回りにある事象から、空間における平面の性質について言葉とイメージが体験によってつながるような活動や、身の回りにある事象を図形として捉え、考察する活動を充実させていくことが大切です。

### 【数学の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県 ●越前市

■全国 51.0

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。

## 【英語】

### ① 学習指導要領の領域における結果

🌸…「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」のすべての領域で全国の平均正答率を上回り、特に「読むこと」「書くこと」では、県の平均を上回っています。

### ② 特に正答率の高かった問題

🌸…「聞くこと」において、情報を正確に聞き取ることができるかどうかを見る問題では、比較的高い正答率が得られました。説明や会話を聞き、その内容を的確に把握し、判断できる力が身につけると考えられます。

🌸…「読むこと」において、情報を正確に読み取ることができるかどうかを見る問題では、全国や県を大きく上回る正答率でした。情報を正確に読み取ると同時に文構造を捉えながら、読むことができていると考えられます。

### ③ 課題

➡…「読むこと」において、日常的な話題についての短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる問題で、課題が見られました。語と語の関連や表現などを手掛かりにしながら、情報を得たり、各段落の主な内容を関連付けたりしながら、大まかに把握することが大切です。

➡…「書くこと」において、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題が見られました。文法の誤りや主語や動詞の欠落、文や段落どうしの関連、内容の一貫性等への意識の低さが見られました。まとまりのある文を書くために、事実と考えを整理し、読み手を意識しながら、伝わりやすい書き方を工夫することが大切です。

➡…「話すこと(発表)」の領域において、話し手の意見に対する自分の考えとその根拠を伝える問題で、課題が見られました。聞いたり読んだりしたことについて、内容を要約して伝えたり、自分の考えや気持ち、その根拠を述べたりする言語活動を充実させていくことが大切です。

### 【英語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県 ●越前市

■全国 45.6

全国の平均を上回り、  
県とほぼ同じでした。  
※「話すこと」領域の結果  
は含まれていません。